

品川寺

ほんせんじ

慈香堂

じこうどう

第一期募集

仏果菩提を祈り、
心が安らぐ供養の場所。
ご納骨の設備を有した
施設が完成しました。

イメージ図

申込
開始

令和3年 5月中旬～

[4月1日より仮受付開始]

費用

30万円～

- ・6年から35年、慈香堂でお預かりしますが、それ以降は合祀墓でのご供養となります。[要相談]
- ・永代供養、年回忌、各種法要などご相談を受け致します。以前の宗派は問いません。
- ・第二期以降、新しい納骨施設を建築予定です。完成後は、新施設への移動も可能です。[要相談]

品川寺倶楽部

品川寺慈香堂へご納骨される方は、品川寺倶楽部へご入会いただきます。

年会費 / 1万円～

会員特典 / 品川寺ご案内の送付(各行事ごと)、品川寺の各種行事への優先ご参加権、境内の品川茶屋のご利用優待権、企画団参への参加権(春秋に本山である醍醐寺への参拝など)



品川寺について



品川寺入口 / 江戸六地藏第一番地藏尊像

品川寺は真言宗醍醐派の別格本山で、大同年間(806～10)開創と伝えられる品川区で最も古い寺院であり、「品川」の地の名称の由来ともなった古刹です。弘法大師空海が関東布教の折に小さな祠をたて、ご本尊水月観音(非公開)を安置したことに始まります。また、太田道灌公が江戸城建立の折の祈願所と定め、念持仏であった聖観音菩薩も本尊として安置されています。

その他、東海七福神の毘沙門天を祀るほか、入口にある大きな銅造地藏菩薩坐像は「江戸六地藏」の一つであり東京都有形文化財に指定されています。鐘楼にある大梵鐘は「洋行帰りの鐘」と呼ばれ、慶応3年(1867)、パリ万国博覧会出品後に行方不明となっていました。スイス・ジュネーブで発見され、60余年を経て昭和5年(1930)に里帰りを果たしました。その縁で現在品川区とジュネーブ市友好憲章を締結しています。

境内には、樹齢は約600年の大イチョウをはじめ、桜、ツツジ、紅葉など四季折々の自然も残る都内では数少ない歴史の自然を有した寺院です。

ご見学はいつでも可能です。お越しをお待ちしております。

別格本山 **品川寺**

東京都品川区南品川3-5-17

<https://honsenji.net>

お問い合わせ

TEL. 03-3474-3495 [担当窓口] 品川寺慈香堂係
平日のみ10時～16時 担当不在時は折り返しのご連絡となります。

MAIL jikodo@honsenji.net



京浜急行「青物横丁駅」徒歩5分
羽田空港から 京浜急行 特急、急行で約30分
品川駅から 京浜急行 普通で約5分